

学校教育目標	「みんな花笑み」 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子 「体」 心身ともにたくましく生きていく子 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子 「開」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子				
	創立 6 周年	学校長 中村 宏	副校長 山本 麻美	2 学期制	一般学級：14 個別支援学級：7
学校概要	児童生徒数： 470 人 主な関係校： 菅田中学校 羽沢小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分で考え、判断し、行動する力	菅田中学校 羽沢小学校 菅田の丘小学校	<習得した知識を活用して課題解決できる子> <互いに表現し合い、自分の考えを深める子> <自ら行動し、粘り強く取り組む子> ○小中職員が一同に会する研修会等を実施し、小中の理解を深める。 ○「9年間で育てる子ども像」を見据えた授業研究会を実施し、小中の連携を深める。 ○菅田中ブロックの特色を生かした自分づくり科(独自教科)の充実に向け研究を推進する。

中期取組目標	○子ども一人ひとりが安心して生活するとともに、自分の思いを実現し笑顔あふれる学校にします。 ・育てたい資質能力を明確にした授業改善を通じ、わかる喜びでできる喜びを実感できる授業づくりに努めます。 ・教育活動全体を通じ、子ども主体の取組を推進し、自尊感情や他者尊重の精神を育みます。 ・心身ともにたくましく生きていく子を育てるための取組を充実させます。 ・まちや人とのつながりを大切に、広く社会のことを考えたり、その実現のために行動したりする力の育成に努めます。 ・特別支援教育の視点を大切に児童理解・個に応じた支援の充実に努めます。 ・日々の観察とデータを活用しながら、子ども一人ひとりの実態を捉え、学びの充実に生かします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①安心して主体的に学びを進められるよう、授業では本時の流れや単元のゴールを明確にすることを大切にします。 ②課題設定と振り返りを大切に、この時間に何がわかったのか、できるようになったのか、実感できる授業を目指します。 ③児童の実態を丁寧に把握し、個に応じた指導の充実に努めます。
担当 教育課程・評価	
徳 豊かな心	①各学年で設定した人権課題について学ぶ取組や、人権週間の取組を通して、人権について考えたり、自他を大切にしたり尊重したりする気持ちを育みます。 ②YPの取組などを通じて、自他を大切にすることを育み、温かな学級風土づくりに努めます。 ③豊かな心の育成を意識した子ども主体の取組を進めます。(例・花笑みあいさつ運動・みんな安心花笑み集会・花笑み放送)
担当 道徳・人権教育推進	
体 健康教育	①体カテストのデータを元に取組を工夫したり、児童運動委員会の取組を継続したりすることにより、運動する機会を増やし、体力の向上を図ります。 ②栄養教諭の専門性を生かした食育指導を行うとともに、児童給食委員会の取組を通じて、食育の推進を図ります。 ③健康課題について学校保健委員会や児童保健委員会の取組を通じ、児童の健康についての意識を高めます。
担当 体育・食育・養護	
公開 自分づくり	①「自分づくり科」を中心とし、まちの人との関わりを大切に学習を進め、自ら考え判断し、行動する力を育てます。 ②ペア学年交流等を通じ、自分の役割を考え、行動する力を育みます。 ③幼保小交流や小中連携の機会を大切に、育ちの連続性を意識していきます。
担当 社会・理科・生活総合、研究開発、異学年交流、地域小・中連携	
いじめへの対応	①みんな安心花笑み集会や横浜子ども会議を通して、いじめ防止について児童が考え、発信・共有する機会をつくり、いじめを許さない学校風土の醸成につなげます。 ②いじめ防止対策委員会を毎月、確実に開催して情報共有を徹底し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決、再発防止、見守りに、迅速かつ組織的に取り組めます。
担当 特別支援・児童指導	
人材育成・組織運営(働き方)	①学校づくりワーキング「花笑みワーク」を実施し、全職員で想いを語り合う文化、想いを形にする文化を大切に、職員の学校運営への参画意識を高めます。 ②研修での学びや経験を共有したり、各自がキャリアステージを意識した研修に取り組んだりし、資質向上に努めます。 ③軽作業委託事業の活用等を通じ、ゆとりある働き方ができる職場を目指します。
担当 教務・管理職	
特別支援教育	①学習のイロハの活用や、ユニバーサルデザインの視点を大切にした授業づくり、環境づくりに取り組みます。 ②スマイル教室の実施等を通じ、個に応じた指導の充実に努めます。 ③児童の特性理解や特性に応じた支援を充実させられるよう、外部機関との連携を進めたり、研修を実施したりします。
担当 特別支援・児童指導	
児童指導	①児童が自分自身を見つめ、次の行動を考えられるよう、対話を大切にした指導を意識します。 ②学校のきまりや菅田中ブロックスタンダードについて職員で共通理解を図り、同じ視点で指導を行います。 ③関係機関と連携し、非行防止教室を実施し、規範意識やモラル向上に努めます。
担当 特別支援・児童指導	
GIGAスクール構想	①ねらいを明確にし授業での端末活用をすすめたり、持ち帰っての活用を増やしたりし、学びの充実に努めます。 ②情報モラル教育を推進し、端末を正しく活用したり、情報を適切に扱ったりできる力を育成します。 ③日常の見取りに加え、データ活用を通じ、実態や思いの把握に努め、授業改善や支援につなげます。
担当 情報教育	
併設型小中学校 地域・社会協働	①職員が、併設型小中学校の位置づけを理解しブロックの取組に参画し、9年間の育ちを意識した教育活動を進めます。 ②自分づくり(キャリア)教育実践推進校にブロックで取り組み、自分づくり科の充実に努めます。 ③学校地域コーディネーターや地域ケアプラザコーディネーターとの連携し、教育活動に地域の人や材を積極的に取り入れます。
担当 教務・管理職	